

三浦一族ゆかりの地元を歩く

実施日 2017年10月11日(水) 10時から

講師 森敏晴氏(三浦一族研究会理事)

参加者 稲本春雄、松本良子、湯川勉、菊田勲、新倉仙太郎、一杉雄二、川田勝利、主藤珠江、吉田綾子、金子信雄、鈴木茂、鈴木啓子、小島正春、小島八重子、友井眞言、15名

目的地 衣笠城址、満昌寺、近殿神社、清雲寺



衣笠城の頂上、物見岩附近



伝三浦大介義明公の墓



衣笠城址

源頼義に従って前九年の役で戦功のあった村岡平太夫為通が三浦の地を与えられ、三浦の中心である要害堅固のこの地に築城した。以後、三浦氏を名乗り、為継、義継、義明と四代にわたり、三浦半島経営の中心地になる。

治承四年（1180）八月、源頼朝の旗揚げに呼応し義明は挙兵したが平家側の畠山重忠（義明の外孫）の大軍に囲まれ、三浦大介義明は一族を逃したのち戦死する（89歳）。衣笠城合戦として有名である。